

# 第8期アトム通貨総会

会期：2012年2月24日（金）

場所：早稲田大学8号館310教室

1. 開会のあいさつ:アトム通貨実行委員会会長 安井潤一郎
2. 2011年度事業報告  
本部より事業、広報関連について:本部 日高海  
早稲田・高田馬場支部より  
埼玉県川口支部より  
北海道札幌支部より  
宮城県仙台支部より  
埼玉県新座支部より  
埼玉県和光支部より  
沖縄県八重山支部より  
愛知県春日井支部より  
東京都新宿支部より  
愛知県安城支部より
3. 本部への要望事項に対する回答
4. 他支部への質問に対する回答
5. その他の質疑応答(新規参入予定者含む)
6. 十万馬力ブランドオリジナル商品ほかについて:本部 石渡正人
7. 2012年度事業スケジュール:本部 石渡正人

以上

## 本部で行ってきた取組（事業関連）

昨年度は環境省のEAPモデル事業およびチャレンジ25民間とメディアの提携事業に採択されたことから助成金もあり、ラジオでの帯番組や各種イベントなどエコ関係の企画を活発に行っていた。

今年度はEAPモデル事業が民間に移行されたことと合わせ、震災の影響もあり、環境活動そのものが活発ではなく、アトム通貨としても大きなアクションを起こすにはいたらなかった。

そうした状況下で行った事業は下記となる。

### 1. 東北震災復興事業での取り組み

宮城県石巻市にラジオ1000台を送る。

2011年4月、文化放送社と共同で被災地石巻市にラジオ1000台を寄付した。

この取り組みは文化放送の番組を通じてリスナーに呼びかけ、家庭で使用していないラジオを回収し、メンテナンスした後、新品の電池を装備して送った。

配送にあたっては高田馬場にあるNGOピースボードの協力を得た。

赤ちゃん一時避難プロジェクト

アトム通貨会長の安井が中心になり、アトム通貨仙台支部と共に赤ちゃん一時避難プロジェクトを立ち上げた。

「赤ちゃん一時避難プロジェクト」とは、被災地の厳しい環境におかれている、これからの社会を担う幼いいのちを救うため、赤ちゃんや小さなお子さんと そのお母さんやご家族を民間の宿泊施設に受け入れ、母子ともに十分な休養と栄養をとり、継続的な医療サポートを受けていただけるよう、複数のNPO法人と自治体とが連携して進めているプロジェクトで、活動状況は仙台支部より報告。

節電プロジェクト

東北震災を受けて節電啓蒙にあたり、店内用POPを作成。

アトム通貨加盟店に協力を呼びかけた。

早稲田地球感謝祭にて、

福島JAに協力を呼びかけ、福島産の野菜を販売。

トラック1台分が3時間で売り切れる盛況だった。

キャンドルイベント

2012年4月より早稲田・高田馬場支部とともに“キャンドルyell”の企画を推進。

震災を風化させないために新宿区の小学生と応援メッセージ入りのキャンドルを作成。

そのキャンドルを都内に避難されている方や被災地に届ける。

## 2. 地域イベントへの参加

早稲田地球感謝際（9/23）ブース出展

文化放送、日経新聞折込を利用してエコキャップの回収を呼びかけた。

当日 46,500 個のエコキャップが回収された。

他に文化放送アナウンサーによりエコクイズなどもステージで実施。

B A B A F E S T（10/30）

NGOシャプラニール社と共同ブース出展。

フェアトレード製品の販売と、エコキャップ、古本、中古CDの回収を行った。



浜松町グリーンサウンズフェスティバル（11/3）ブース出展

文化放送番組を利用してエコキャップの回収を呼びかけた。

当日 76,800 個のエコキャップが回収された。

まちの先生見本市（1/28）

新宿区社会福祉協議会と共同でサロンを運営。

日経新聞折込を利用してエコキャップの回収を呼びかけ、当日 35,450 個のエコキャップを回収した他、

シャプラニール社のストリートチルドレンパネルの展示やペパバック作り教室や環境カルタなどを実施。

## 3. その他

昨年度実施した、チャレンジ25キャンペーン採択事業「旬産旬消大作戦」が2010年度同事業の注目事例 1 に選ばれた。

## 本部で行ってきた取組（広報関連）

### 第8期アトム通貨メールマガジン発行

[読者数（2月3日時点）]...250人 [発行回数]定期発行...10回 号外発行...2回

Vol.1 4.4 第8期流通スタート/和光支部誕生/各支部新着情報

Vol.2 5.31 八重山支部参画決定/各支部新着情報

Vol.3 6.28 Facebook ページ開設&Twitter 開始/各支部新着情報

Vol.4 7.29 八重山支部誕生/今後の支部導入予定/各支部新着情報

Vol.5 8.31 春日井支部誕生/早稲田地球感謝祭出展のお知らせ/各支部新着情報

Vol.6 9.30 新宿支部誕生/各支部新着情報

号外 10.19 安城支部誕生/BABA FEST2011 出展

Vol.7 10.28 浜祭 2011 出展/各支部新着情報

Vol.8 11.30 イベント出展報告/各支部新着情報

Vol.9 12.26 年末年始のお知らせ/支部の注目プロジェクト

Vol.10 1.31 流通まであと1カ月/各支部新着情報

号外 2.3 総会・懇親開催のお知らせ

### Web 関連

**公式サイト** <http://atom-community.jp>

[月間平均 PV 数]26,000PV

[考察]

- ・2011年4月時点では23,000PVであったが支部が増えた10月には32,000PVを記録。
- ・月毎の検索ワード（ページにどのように入ってきたか）では、8月に「ハツキタ」9月「春日井」10月「新座市民まつり、安城サンクスフェスティバル」11月「浜祭」12月「安城元気フェスタ」など、イベント名検索が目立つ。また、支部からの更新があった日、メルマガ配信日等にアクセスが増える。
- ・平日の昼、夕方以降にアクセスが多い。土日の更新は効率的ではない。

**Facebook ファンページ** <http://www.facebook.com/atom.community>

[ページに対する「いいね」数]（2月22日時点） 292件

各支部からの申請をもとに、注目イベントをランダムに配信。実際にFacebookからイベント来場をされた方も有り、効果がみられる。今後も活用方法を模索。

**Twitter** @atom\_pr

[フォロワー数]（2月22日時点） 70人

Twitter は現在 Facebook のウォール内容を自動転送するのみ。

### メディア情報のとりまとめのお願い

流通範囲の拡大と支部増加により、本部広報のみでは情報収集が厳しい。

取上げられたラジオ、TV、新聞、雑誌、情報誌等の情報は、各支部でまとめていただきたい。放送・掲載日、媒体、内容など、分かる範囲で構いません。

**支部名:早稲田・高田馬場支部**

**支部概要について**

・中心団体と協力団体

中心団体: アトム通貨実行委員会早稲田・高田馬場支部

協力団体:

早稲田大学周辺商店連合会

(大隈通り商店会、古書組合、早大通り商栄会、早大西門体育館通り商店会、南門通り商店会、早稲田駅前商店会、早稲田グランド商店会、早稲田商店会)

高田馬場西商店街振興組合

高田馬場銀座商店街振興組合

早稲田大学

後援: 新宿区

・2011年度の加盟店数と特徴

飲食・物販・サービス業など約180店舗が加盟しています。第1期(2004年)から多くの加盟店に継続してプロジェクトを実施していただき、マイバックプロジェクトのように地域に定着したプロジェクトが生まれています。また、「ありがと傘(さん)プロジェクト」「ライトダウンプロジェクト」など、新たなプロジェクトにも積極的に取り組んでいます。

・2011年度発行馬力数(見込み)

10馬力 25,925枚

50馬力 2,925枚

100馬力 3,055枚

計 711,000馬力(2012年2月6日現在)

**導入目的と達成度**

・導入目的

アトム通貨は鉄腕アトム誕生の年、2003年に構想されました。早稲田・高田馬場の商店街の「環境」を切り口にしたまちづくり、早稲田大学の地域における社会貢献活動の推進、手塚プロダクションの地域活性化を目指したCSR活動、という三者のマッチングによってアトム通貨実行委員会が設立されました。アトム通貨は、地域活性化のための地域通貨というだけでなく、環境活動を推進するエコマネー、社会貢献活動を推進するサンクスマネーとして、2004年に流通を開始しました。

・導入によって得られた効果

地域の人々にとって、社会貢献活動に踏み出すハードルを下げる事ができたと感じています。これまで、環境問題など大きな社会問題に関わる活動に踏み出しにくいという抵抗を感じていた人や子どもたちにも、見た目にも可愛いアトム通貨をきっかけにすることで、気軽に社会貢献活動に参加してもらうことができます。またアトム通貨をお店の方とやり取りする事で自然に会話が生まれ、社会貢献活動に参加できるだけでなく、地域コミュニティ自体も活性化されるという循環をつくりだすことができました。

・PR効果(媒体で取上げられた事例)

大学での広報誌に掲載

アニッコ(日本動画協会・西武鉄道 社会貢献プロジェクト)

メディア掲載が例年に比べ少なかった。来期はプレスリリースなど広報活動にも力を入れていきたい。

・達成できなかった点、課題

安定的な財源の確保が第一の課題です。現在は広告収入や企業協賛でまかっていますが、恒常的に財源が不足しているため、運営資金を集める方法を模索しています。また、学生主体で運営しているので、スタッフが常駐できません。在籍年数に限りがあるために、文書だけでは残せない人間関係などのスムーズな引き継ぎも課題です。定期的な店回りなどにより加盟店との距離を縮める努力をしています。事務局運営だけで手一杯になるのではなく、より創発的な議論ができる事務局作りもしていきたいと考えています。

**来期への展望**

加盟店と協力して、従来のプロジェクトを推進したり、新たなプロジェクトを提案・実施したりすることで実行委員会と加盟店の相互の関係性を強化し、より一層の地域コミュニティの活性化に努めます。また、早稲田・高田馬場地域を中心とする企業や大学、NPO、学生団体との更なる連携を図り、既存のイベントに新たな要素や観点を加えるなど、事務局運営をこなす上で様々なアイデアを創発し、イベント・企画に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

**本部への要望**

今後も、本部や他支部と連携して刺激を受けることで、活動を発展させていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

## その他

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

早稲田・高田馬場支部の加盟店で現在行われているプロジェクトは、マイ箸推進、マイバッグ推進、旬産旬消メニュー、ハンガーリユース、古本購入、エコ商品購入、ボランティア活動参加、特産品購入などです。

また2011年6月5日(世界環境デー)～7月7日(クールアースデー)の環境月間では、早稲田・高田馬場地域でエコイベントを企画・運営し、加盟店においてもエコプロジェクトに取り組みました。イベントとしてはエコキャンドル作り教室、打ち水大作戦などこれまでの取り組みの手法を更に改善し継続して実施しました。加盟店での取り組みとしては、ありがと傘(さん)プロジェクト、ライトダウンプロジェクトなど加盟店での取り組みを提案しました。また、他にも地域での清掃活動や地球に優しい料理試食会などにも取り組みました。環境に対する意識啓発だけでなく、それぞれの取り組みにおいて他団体と協力し、早稲田・高田馬場のまちに様々な人を巻き込んでまちを元気にする事が出来ました。

(写真:左上から 早稲田打ち水大作戦 2011、エコキャンドル作り教室、清掃活動)



・他の支部への質問

イベントにおける集客についての工夫などをお聞きしたいです。

また、財源の確保方法についてもアドバイスお聞かせください。

加盟店でのプロジェクト定着、関係づくりについても、工夫や取り組みなどがありましたらご指導お願いします。

## 支部名:川口支部

### 支部概要について

#### 【中心団体と協力団体】

- ・中心団体:(社)川口青年会議所 OB 有志の会
- ・協力団体:西川口東口連合商店会

#### 【2011 年度の加盟店数と特徴】

- ・2011 年度加盟店数:31店舗  
飲食:5店舗 物販:14店舗 サービス:5店舗 その他:7店舗

#### 【2011 年度発行馬力数(見込み)】

- ・ 10馬力×5,189枚=51,890馬力
  - ・ 50馬力× 414枚=20,700馬力
  - ・100馬力× 335枚=33,500馬力
- 
- |     |           |
|-----|-----------|
| 合 計 | 106,090馬力 |
|-----|-----------|

### 導入目的と達成度

#### 【導入目的】

- ・アトム通貨のテーマである「未来の子どもたちのために」を通じた地域活性化を目的としました。
- ・持続可能な環境と経済の両立ができる仕組みづくりの構築を目的としました。
- ・商店街への集客性の向上を目的としました。
- ・商店街及び個人商店のリピーター数の向上を目的としました。
- ・商店街及び個人商店の魅力の創出を目的としました。
- ・商店街及び個人商店の経済性の創出を目的としました。

#### 【導入によって得られた効果】

パブリシティー効果により、商店会の魅力を地域の方々に効果的に伝える事ができ、話題性の創出が得られました。

子どもたちをはじめとする地域住民と一緒にを行う社会貢献型イベントを行う事により、新たな顧客層の創出を得ることができました。

アトム通貨のオフィシャルHPをはじめとする様々なツールを活用する事により、少人数ながらも商店街のイベントやその他の事業への集客が得られました。

#### 【PR効果(媒体で取上げられた事例)】

- ・マイシティーじゃ～なる((有)川口情報センター発行)

#### 【達成できなかった点、課題】

今期は自粛ムードの中のスタートとなり前半のオープニングイベントなども中止となり他の支部同様厳しいスタートの年となりました。消費者の節約ムードや電力の節電という厳しい状況下のなか



本年度「アトム通貨」事業への参画をしていただきました加盟店の方々には大変感謝をいたします。その一方で厳しいお言葉なども頂いており、そのことを真摯に受け止め本年度の反省を来期の課題として支部の成長の糧としていきたいと考えます。

加盟店舗数の維持と拡大

定期的な販わいの創出

経済性の創出

通貨の発行枚数の増大

他団体への働きかけ

5項目を今期の反省点とし、 に関しては定期的な「アトム通貨勉強会(案)」を開催し、その中でアトム通貨の魅力や効果的なアトム通貨の活用方法などを学んで頂く事が  の課題克服につながるのではないかと考え、結果を出して頂く事が  に繋がって行くのではないかと思います。

### 来期への展望

FacebookをはじめとするSMSを活用することでアトム通貨や加盟店の魅力発信、イベントなどの集客性向上を図りたいと思います。

また、今期は経済性の創出の一助になるであろうと考える地域ブランド品の構築を進めていければと思います。

### 本部への要望

リーフレット、ポスターなど各支部でシェアできるモノを作成して頂ければ助かります。

(第6期の様なモノ)

### その他

【他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例】

・川口支部発案のイベントやプロジェクトとしては、今期は特にありません。

・本部よりシェアして頂いた「節電プロジェクト」は非常によい企画だと思いました。

【他の支部への質問】

商店街や加盟店が、自発的にプロジェクトやイベントを企画し実施している事例はありますか？

また、今回の総会は今後アトム通貨導入を視野に入れている方々がオブザーバーとして参加しております。

アトム通貨を導入したからこそ頂けた「さまざまな声」があると思います。当初、ご自分が創造していなかった「こんな効果もあるんだ！」と言うエピソードが、ありましたら教えてください。

## **支部名:札幌支部**

### **支部概要について**

- ・中心団体と協力団体  
発寒北商店街振興組合
- ・2011年度の加盟店数と特徴  
30店
- ・2011年度発行馬力数(見込み)  
30万馬力

### **導入目的と達成度**

- ・導入目的  
商店街が行っていた廃食油回収などのエコ活動の促進と認知度を高めるため。
- ・導入によって得られた効果  
地域や商店街活動に対して小学生や子育て世代の親たちも参加してもらえるようになってきた。  
また、道内だけでなく道外からの商店街や商工会の視察が増え商店街のPRができた。
- ・PR効果(媒体で取上げられた事例)  
2011年5月9日朝日新聞北海道版に「マイ箸持参10馬力」というタイトルで商店街活動とアトム通貨について掲載。同日、HBC(北海道放送)ラジオの朝の番組でアトム通貨と発寒北商店街が紹介された。
- ・達成できなかった点、課題  
もらえる店を増やすことが出来なかった。商店街の活動の中で役割分担をきちんと決め、アトム通貨の活用箇所を増やす意識を高める必要がある

### **来期への展望**

流通量を増やすことで地域の方々への認知度を高め、店舗で利用してもらう量をふやしていきたい。

### **本部への要望**

特になし

### **その他**

- ・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例  
特になし
- ・他の支部への質問  
特になし

## 支部名:仙台支部

### 支部概要について

・中心団体と協力団体

### 支部運営中心団体の変更

NPO 法人未来環境福祉ネットワーク

〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区萩野町2 - 1 1 - 2

電話番号 0 2 2 2 - 3 4 9 - 8 7 5 4 [info@150150.jp](mailto:info@150150.jp)

支部長 赤木 弘喜 (NPO 法人未来環境福祉ネットワーク・理事)

< 2 0 1 1 年度 仙台支部活動報告 >

「赤ちゃん一時避難プロジェクト」

3月11日、東北地方太平洋沖地震がおきました。

私たち仙台支部も様々な分野での支援に協力しています。

特に、「赤ちゃん一時避難プロジェクト」におきましては、避難家族への呼びかけ、質問対応、避難地への送迎、募金活動を行いました。



## 導入目的と達成度

構成団体の NPO 法人と地元商店街が連携し、アトム通貨の「ありがとう！」をきっかけに、“地域・環境・教育・国際交流”の4つの柱で地域活性化に取り組んでいきます。

・達成できなかった点、課題

2012年度は、「3・11東日本大震災」のため活動が停止。

## 来期への展望

2012年度の実施に向けて、組織の再構築を行う。

復興支援事業との連携を図り、5年間の「復興支援アトム通貨プロジェクト」を構築する。

<内容>

地域：東日本大震災復興支援事業への協力。ボランティアに「ありがとう」の気持ちを伝える。

環境：従来行なってきた、エコキャップ、ペットボトル、古着の回収イベントを継続的に行う。

教育：復興支援「サポートアワキッズ」との連携を図り、協働する。

**Support Our Kids** <http://support-our-kids.org/ja/>

国際交流：従来行なってきた、海外留学生と市民との交流活動を継続的に行います。

## 本部への要望

「復興支援アトム通貨プロジェクト」の実施に向けてのお願い

1. 財団法人日本広報センターとの提携による「フェニックス・コミティ」との協働事業として認めて頂き、具体的には、透かしにフェニックス・コミティのロゴマークを使用することをご承認いただきたい。
2. 5年間の「復興支援アトム通貨プロジェクト」として、仙台支部の活動範囲を宮城県全域に広げることをご検討いただきたい。  
(宮城県内の各地域が支部設置を目指すように、活動いたします。)
3. 資金確保の手段として「JustGivingJapan」を活用して、ファンドレイジングを行うことをご認め頂きたい。(仙台支部として掲載)

## その他

- ・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例  
特になし
- ・他の支部への質問  
特になし

以上です。よろしくお願いいたします。

## **支部名：新座支部**

### **支部概要について**

- ・ 中心団体と協力団体  
中心団体：新座市商工会 / 協力団体：新座市、新座市商店会連合会
- ・ 2011 年度の加盟店数と特徴  
144 店舗（飲食 24、物販 71、サービス 17、その他 32）、「もらえる店舗」は 21
- ・ 2011 年度発行馬力数（見込み）

	発行枚数	発行金額
10馬力	8,300 枚	83,000 円
50馬力	3,700 枚	185,000 円
100馬力	6,400 枚	640,000 円
合計	18,400 枚	908,000 円

### **導入目的と達成度**

- ・ 導入目的  
市内商店及び商工会員の活性化 / 地域振興イベントへの市民参加を促し観光都市づくりを推進
- ・ 導入によって得られた効果  
大型店舗利用者の地域小規模店舗への呼び込み / 市民の地域貢献への取り組み意識の向上
- ・ P R 効果（媒体で取上げられた事例）  
アトム誕生日である 4 月 7 日に、東日本大震災被災者のための募金活動を実施し募金協力者にアトム通貨 10 馬力を進呈（埼玉新聞に記事掲載）。
- ・ 達成できなかった点、課題  
目標だった加盟店舗数（200 店舗）に届かなかった

### **来期への展望**

加盟店舗数の増加、アトム通貨の認知度の更なる向上

### **本部への要望**

### **その他**

- ・ 他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例
- ・ 他の支部への質問

## **支部名：和光支部**

### **支部概要について**

- ・ 中心団体と協力団体  
中心団体：和光市商工会 後援：和光市、和光市教育委員会
- ・ 2011 年度の加盟店数と特徴  
72 店舗 飲食店小売店が中心だが、不動産業や葬祭業者等様々な業種が加盟しています。
- ・ 2011 年度発行馬力数（見込み）  
620000 馬力。

### **導入目的と達成度**

- ・ 導入目的  
アトム通貨（地域エコマネー）を導入することにより、産業振興はもとより和光市の地域振興、環境対策、教育活動に寄与することを目的に導入しました。
- ・ 導入によって得られた効果  
アトム通貨の流通によって、導入前には利用のなかった店舗（加盟商工会会員企業）に来店される方も数多くみられるようになりました。
- ・ P R 効果（媒体で取上げられた事例）  
特にありませんでした。
- ・ 達成できなかった点、課題  
様々な業種の方々に導入していただいているが、実際に流通している店舗が限られているのが課題としてあげられます。

### **来期への展望**

今期以上に流通させられるよう、各加盟店舗に配布事例など様々な具体的事例をを提供していきたいと考えています。

### **本部への要望**

アトム通貨 PR の為の具体的成功例などがあれば、定期的にメール等でお知らせ願います。

### **その他**

- ・ 他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例  
今年度は特にお勧めのイベント等を行ないませんでした。
- ・ 他の支部への質問  
アトム通貨を使用した、街おこしの成功例があればお伺いしたいと思います。

## 支部名：八重山支部

### 支部概要について

#### ・中心団体と協力団体

中心団体：石垣市商工会

協力団体：石垣市役所、石垣市教育委員会（石垣島マラソン実行委員会）、  
石垣島まつり実行委員会、やいま大通り会、沖縄県建設業協会八重山支部

#### ・2011年度の加盟店数と特徴

全 85 店舗、うち 39 店舗が小売業、23 店舗が飲食業と 2 業種で 7 割を占める。サービス業が 11 店舗。

また、このうちの 41 店舗は「やいま大通り会」加盟店舗であり、約半数を占めている。

#### ・2011年度発行馬力数（見込み）

金種	発行枚数	金額
10馬力	10,736枚	107,360円
50馬力	5,192枚	259,600円
100馬力	36,896枚	3,689,600円
（合計）	52,824枚	4,056,560円

### 導入目的と達成度

#### ・導入目的

石垣市商工会では、平成 19 年度から「いしがきブランディングプロジェクト」を展開。これまでの「島の豊かさ」を残しながら「地域経済循環」と「持続可能な観光」の創出が、新たな「島の豊かさ」になること目指し、プロジェクト推進委員会を中心に事業に取り組んでいます。5 年目となる本年度では地域コミュニティを経済の側面から活性化する為、地域通貨を試験的に導入。地域経済、コミュニティの活性化を検証しております。

#### ・導入によって得られた効果

プロジェクトやイベントを通して、加盟店が自主的、積極的に地域経済の振興に携わる機会を活用したことで、機会活用の意識が普及しプロジェクト案も徐々に活発化してきた。地域通貨の周知が広まるとともに、課題点も見えてきたことで、今後の取り組み方もより具体的になると思われる。

また、通貨資源として観光客（島外マラソン参加者）からマラソン大会を通じて外貨を獲得し、地域内で循環させることができた。

・ P R 効果（媒体で取上げられた事例）

掲載媒体	掲載タイトル	掲載日時
沖縄タイムス	地域通貨 試験導入へ	平成23年6月16日
	いしがきアトム流通開始	平成23年8月8日
八重山毎日新聞社	石垣市商工会 今夏から「地域通貨」実施	平成23年6月16日
	石垣島地ビール 本格発行前プレイベント	平成23年7月16日
	今日から流通へ 38店舗でスタート	平成23年8月6日
	アトム通貨イメージ広告（週に1回）	平成23年9月～12月
	石垣島まつり記事内広告	平成23年11月4日
	アトム通貨 393万円分発行	平成24年2月3日
	法人・会社化に発展	平成24年2月5日
八重山日報社	秋から地域通貨を社会実験	平成23年6月16日
	石垣島地ビール 「いしがきアトム通貨」を配布	平成23年7月16日
	「アトム通貨」流通スタート 38店舗参加 島内で“循環”	平成23年8月7日
	アトム通貨流通順調 今年度は500万円規模	平成23年11月13日
	地域経済活性化へ	平成24年2月5日
FM 石垣	石垣市商工会青年部 商いらチオ	平成23年8月14日
	ユクイどき トロピカ Time by 伊良皆 誠	平成24年2月1日
月刊ソトコト	エコツアー、地域通貨、星……。アイデアはいろいろ。 「いしがきブランディングプロジェクト」で島を元気に。	平成23年11月1日



All About	石垣島でエシカルなライフスタイルを体験	平成24年1月27日
-----------	---------------------	------------

・達成できなかった点、課題

今年度目標であった加盟店舗数100店舗が達成できなかった。

アトム通貨が「どこで使えるのか？どこでもらえるのか？どうやってもらうのか？」との声があり、加盟店舗の周知を推進する広報活動が必要である。新聞、ラジオ等でのPR。つかえるお店一覧がわかるパンフレットなど。

**来期への展望**

八重山支部において「アトム通貨」は、「いしがきブランディングプロジェクト」の一環として運営・管理されている。5年目となるいしがきブランディングプロジェクトは事業としては本年度で終了となるが、プロジェクトをNPO法人や株式会社で継続する方針であり、「アトム通貨」もNPO法人のプロジェクトとして引き継ぐ予定である。

将来的には商工会から独立させることによって、より専門的でより充実した企画・提案が期待される。石垣市商工会としても引き続きサポートは行っていく。

**本部への要望**

アトム通貨本部から支部への、普及・管理ノウハウの情報発信。(おすすめの紙幣計算機、等々) 統一的な普及システム(メディア等)の構築、支援。各支部により収集されたデータの検証・遡及。

アトム通貨サミット開催の提案(目的:支部内の人的、地域的交流)

**その他**

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

名称:「石垣市商工会職員にアトム通貨を! ~いつも地域のためにありがとう~」

概要:石垣市商工会職員の給料の一部をアトム通貨で支払う。(毎月1人2000馬力)

ポイント:支部のスタッフ達自身が地域通貨の流通に貢献できる。

・他の支部への質問

アトム通貨の使用に向いていない業種(不動産等)への対応はどのようにしているのか。

## **支部名：春日井支部**

### **支部概要について**

- ・ 中心団体と協力団体  
春日井市商店街連合会（春日井市認定特産品協議会、NPO けやきフォーラム他）
- ・ 2011 年度の加盟店数と特徴  
201 店舗
- ・ 2011 年度発行馬力数（見込み）  
約 141、4 万馬力

### **導入目的と達成度**

- ・ 導入目的

春日井市は名古屋市の北西に位置する人口約 30 万人の中核都市です。戦後、名古屋のベッドタウンとして人口が急増し、商工業とも発展してきました。市民・事業者・行政が一体となり「環境都市春日井」の実現に向けて事業が進められており、アトム通貨の導入で、これらの事業に拍車をかけ、商店街を広く認知してもらうための導入

- ・ 導入によって得られた効果

春日井市が、春日井まつり等を中心に積極的に導入し、特に節電世帯に配布するなど宣伝効果も多く得られた

- ・ PR 効果（媒体で取上げられた事例）

中日、朝日、毎日新聞各紙 東海ラジオ等

- ・ 達成できなかった点、課題

- 1) アトム通貨を配布するプロジェクト、イベントが手薄
- 2) 参加店の事業についての理解が希薄
- 3) 市民・NPO 等への PR 不足

### **来期への展望**

上記の課題を中心に克服していく

### **本部への要望**

特になし

### **その他**

- ・ 他の支部への質問

回収したアトム通貨の使いまわしについて、どのように処理がされているのか

## **支部名：新宿支部**

### **支部概要について**

- ・中心団体と協力団体

新宿区商店会連合会

- ・2011年度の加盟店数と特徴

208店（内イベント関連で3日間実施 150店、アトム通貨関連38店、常設店20店）

- ・2011年度発行馬力数（見込み）

550,000馬力

### **導入目的と達成度**

- ・導入目的

地域イベント開催における環境啓発、アトム通貨を活用した商店会活性化の一助

- ・導入によって得られた効果

商店会における消費者とのコミュニケーションの向上、イベントにおける環境意識の高揚

- ・PR効果（媒体で取上げられた事例）

新聞（一般3紙、業界3紙）、テレビ2局、ラジオ2局、サイト28

- ・達成できなかった点、課題

常設取扱店の拡充、イベント参加店の永続化、商店会長への指導・育成

### **来期への展望**

優良取扱店の拡大、取扱店舗拡充のためのスタッフ教育

### **本部への要望**

何時もお世話になっております

### **その他**

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例特になし、後発支部として先輩支部の動向確認をしたい

- ・他の支部への質問

## 支部名： 安城支部

### 支部概要について

#### ・中心団体と協力団体

中心団体：安城市商店街連盟（安城市内商店街振興組合 全 11 単組）

協力団体：安城中央商店街連盟・安城市・安城商工会議所・(株)安城スタイル（まちづくり会社）・まちづくり A n j o ・(協)安城サルビアスタンプ会 他、16 団体

#### ・2011 年度の加盟店数と特徴

加盟店数：『もらえるお店』22 店舗 『つかえるお店』260 店舗

#### 加盟店合計 261 店舗

支部特徴： 加盟店の換金方法が地元の信用金庫（市内 10 本支店 + 市外 1 支店）にて換金が可能。

加盟店からは加盟料を頂かず、信金での換金手数料も支部負担とし、加盟店の負担を減らす事により、加盟のしやすさに重きを置きました。

商店街スタンプ事業の(協)安城サルビアスタンプ会に協力して頂き、スタンプ会加盟店全店に『アトム通貨』加盟店にもなって頂いたので、立ち上げと同時に加盟店数が 200 を越える事ができました。

#### ・2011 年度発行馬力数（見込み）

10 馬力 × 17,462 枚 = 174,620 馬力

50 馬力 × 3,350 枚 = 167,500 馬力

100 馬力 × 2,471 枚 = 247,100 馬力

発行合計 592,220 馬力（見込み）

### 導入目的と達成度

#### ・導入目的

安城市商店街連盟では、平成 12 年より安城独自の環境通貨（環境に良い事をするともらえる通貨）として『エココイン・エコ小判』を制作し、サンクスフェスティバル他、市内のイベントにて活用してまいりましたが、法律の関係で平常時に流通させる事はできませんでした。そんな中、「アトム通貨」と出会い、導入する事により「環境」だけでなく、「教育」「地域」「国際」への市民の皆様の関心を高め、積極的に参加して頂き『ありがとう』の輪を広げ、商店街が地域コミュニティーの核であり続けたいという思いで導入させて頂きました。

## ・導入によって得られた効果

環境通貨「エココイン・エコ小判」から『アトム通貨』に変わり、「環境に良い事」のみではなく、多分野の『良い事』に枠が広がる事ができる様になり、多くの団体様のイベントに活用して頂きやすくなった。

『アトム通貨』に変わった事により、平常時の利用ができる様になり、貰った方の利便性が向上した。

平常時の利用ができる様になった為、サクスフェスティバルの際に同時イベントとして(サクスフェスティバル当日までの1週間)行っていた『エココイン流通店』というイベントが、プロジェクトという形で日常的に開催できるようになった。

## ・PR効果(媒体で取上げられた事例)

【2011年9月 8日】	新聞	中日新聞	：	安城支部	立ち上げ記事
【2011年9月13日】	新聞	読売新聞	：	安城支部	立ち上げ記事
【2011年10月7日】	新聞	朝日新聞	：	安城支部	立ち上げ記事

## ・達成できなかった点、課題

アトム通貨の流通開始日を安城の中心市街地のイベント『第14回 安城サクスフェスティバル』に合わせた事により、イベントの準備とアトム通貨の導入の準備が一緒のタイミングになってしまった事もあり、下記の事が準備不足の為達成できませんでした。市に積極的な働きかけが出来なかった事もあり、安城市によるアトム通貨の活用が行われなかった。

プロジェクト参加店の積極的な募集。

通貨の利用団体の積極的な募集。

通貨発行馬力数の拡大。

企業へのスポンサー募集。

## 来期への展望

安城市を含めた通貨の利用団体の拡大。

プロジェクト参加店数の拡大(具体的なプロジェクト内容の提案を行っていく予定です)

加盟店数の拡大。

通貨発行馬力数の拡大。

企業へのスポンサー募集。

安城支部版のリーフレット作成による、広報物の一本化(加盟店一覧・実施プロジェクト一覧など)を計る。

『アトム通貨』のPRをする事により、加盟店・活用団体の拡大、スポンサーの確保に繋げる。

『十万馬力ブランド』の活用

他支部との連携を図りたい。

## 本部への要望

いつもサポートをして下さり、ありがとうございます。

今期は支部立ち上げという事もあり、大変お世話になりましたが、来期は『全国まちづくり商店街サミット』（仮称）の開催に伴い、さらにお世話になるかと思われま

す。何卒、引き続きご協力を宜しくお願い申し上げます。

## その他

### ・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

#### イベント事例

**エコキャップアート**：エコキャップ回収月間500万個の安城市だからそこ生まれた団体”Anjo Hearts PROJECT”（エコキャップを原材料に、『世の中に無い物をつくろう』と活動している団体）に協力して頂き、エコキャップで鉄腕アトムの顔を子ども達に作ってもらうイベントを行いました。エコキャップアートに参加する子ども達には、エコキャップを持参してもらい、11,352個集まり、ポリオワクチン14名分を寄付する事ができました。この事により、『環境』だけではなく、『国際協力』にもなるイベントとなり、さらに、完成したアトムのエコキャップアートの前にて、アトムとの握手会を開催し、子どもだけではなく、『鉄腕アトム』をよく知っている世代である大人達にも大人気の握手会・撮影会となりました。

#### 《 エコキャップアート&アトム握手会 風景 》



- ・ **まちなか産直市**：毎月第4土曜日に開催している『まちなか産直市』にて「もらえる」と「つかえる」を継続して行って頂いている為、たまにある大きなイベント時だけではなく、毎月ある小さなイベントにもアトム通貨の流通を行い、『アトム通貨』を市民の皆様の生活に定着させていく効果が狙えると考えています。

《 まちなか産直市 風景 》



#### プロジェクト事例：

##### 米袋削減プロジェクト：

お米10kgお買い上げで米袋お断りのお客様 50馬力進呈。

お米5kgお買い上げで米袋お断りのお客様 30馬力進呈。

\*マイバッグの要領と同じで、前回使用した米袋を大切に取っておき、次回お米を買う時にもって行くというスタイルで消費者も参加しやすく、しかも貰えるのも50馬力や30馬力なので、とても好評な様です。

##### ・むし歯早期発見推進プロジェクト：

治療完了後の検診に来てくださった方に100馬力進呈。

プロジェクトどころか、加盟店にすらなってしまうにくい業種である歯医医院によるプロジェクトです。好評らしく、アトム通貨を追加購入して下さっています。

##### ・他の支部への質問

アトム通貨の流通期間外の仮発行についての、ご対応方法を教えてくださいたいと思います。「質問と」というよりも、「お願い」となってしまうのですが、2012年10月26日(金)に、『全国まちづくり商店街サミット』(仮称)を、安城にて開催させていただきます。その際、アトム通貨を中心とした内容を計画しておりますので、アトム通貨実行委員会の皆様是非ご参加頂きたく、お願い申し上げます。

詳細が決定しだい、ご案内をさせて頂きたいと存じます。何卒宜しく願い申し上げます。